

## ②令和3年度空家等現地調査の結果について

### 1 趣旨

平成29年度実施した大竹市空家等実態調査で把握した危険空家候補であるCランクと判定された、市街地の空家等の件数及び分布状況の経過状況を把握することを目的とし、株式会社ゼンリンに委託し、令和3年度現地調査業務を実施しました。

### 2 業務の内容

(1)業務期間 令和3年6月17日～令和3年9月30日

(2)現地実態調査

公道より外観目視による、市街地に分布する調査対象家屋(145戸)の現地調査を実施。また、特定空家等判定調査は不良度判定表により危険と判断されたものを、大竹市空家等対策計画による特定空家等の判定表を用いて作成する。

(3)調査内容

調査時における取得内容

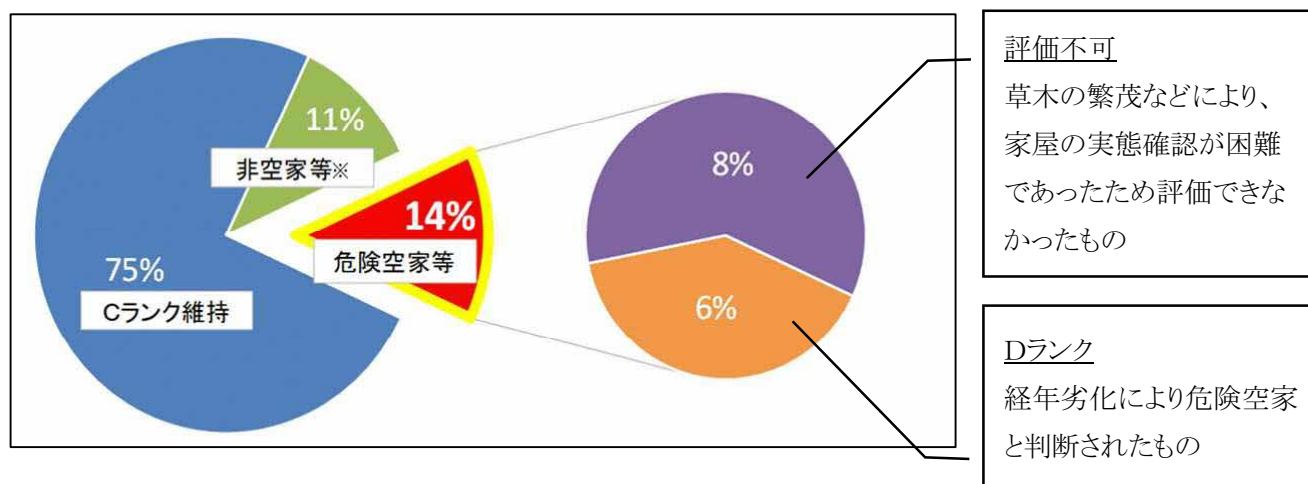
- ①調査の状況(調査の可否、空家種別、管理物件、)
- ②所在地情報(住所、位置座標、住宅地図帳記載位置)
- ③建物情報(建物名称・建物用途・建物階数・建物写真・構造)

### 3 調査結果

調査結果の全体概要は以下のとおりとなりました。

| H29 年調査<br>Cランク | 調査対象 | Cランク維持 | 非空家等※ |             | 危険空家等 |      |
|-----------------|------|--------|-------|-------------|-------|------|
|                 |      |        | 解体    | 建替<br>居住実態有 | 評価不可  | Dランク |
| 213戸            | 145戸 | 109戸   | 5戸    | 11戸         | 12戸   | 8戸   |

※解体により更地になっていたり、居住実態の確認ができたなどの理由により、空家等と判断されなかったもの。



Cランクを維持しているものが75%で、次いで経年劣化により危険空家等に進行したものが14%ありました。一方、解体されたものなどの非空家等が11%と、空家等を放置せず、早期に対応を行った空家等も確認しました。経年劣化により危険空家と判断されるものが1割以上増加していることが分かりました。

これを受け、大竹市では、令和3年度現地調査の結果と併せ、危険空家となる前の早期対応を呼びかけるパンフレットを作成しました。(資料「ちょこっと空き家の話」)